

質問書への回答

「松戸市全庁業務量調査委託に関するプロポーザル」において提出がありました質問書について、下記のとおり回答します。

実施要領

番号	質問項目	質問内容	回答
1	P2 6 (2)ウ 業務実績書（様式3）について	提出する実績について、今回複数社での合同提案となる場合、複数社での実績でよろしいでしょうか。	複数社での実績を記載いただいても構いませんが、合同提案する会社の実績合計が2つ以上（うち提案の主体となる会社での実績が1つ以上）となるようにご記載ください。
2	P2 6 (1) 参加資格について	JV（ジョイントベンチャー）又はコンソーシアムでの参加は可能でしょうか。	複数社による共同参加も可能ですが、事業実績については合同提案する会社の実績合計が2つ以上（うち提案の主体となる会社での実績が1つ以上）となるようにご記載ください。
3	P2 6 (1) 参加資格について	一部業務の再委託は可能でしょうか。	一部業務の再委託は可能です。再委託する場合には契約時に再委託先及び再委託業務を記載した書面を市に提出し、承諾を受けてください。

仕様書

番号	質問項目	質問内容	回答
1	P 1 4 業務内容	令和5年10月13日までに中間とりまとめを行うこととありますが、全体の想定スケジュールはございますか？また調査中となる可能性もあるため、10月時点での途中経過報告でもよろしいでしょうか？また、中間報告は、最終成果物ではない認識で宜しいでしょうか？	中間とりまとめについては、仕様書の業務内容(1)～(4)の結果として、各所属から提出された調査表データを集計したものに簡易的な分析を加えたものを想定しております。中間報告の時点では各所属からの調査票データが揃っているようにスケジュールの組み立てをお願いします。最終成果物は、仕様書の業務内容(5)以降の詳細分析や改善提案等を含めた内容等になるため、中間報告とは異なります。
2	P 3 4 (5) 業務量及び内容・性質の分析②	候補となる業務の一覧を提示し、予測効果を推定とありますが、業務数の想定はございますか？	改善施策の導入による効果が見込まれるものについては、可能な限り提示・分析いただきたいと考えておりますので、貴社のノウハウにより実施可能な範囲をご提案ください。
3	P 3 4 (5) 業務量及び内容・性質の分析③	ベストプラクティスとの差異を分析とありますが、こちらも業務数の想定はございますか？	業務数の想定はございませんが、例えば「業務にかかる人工の高い上位〇〇業務(数)に対して分析を実施」「課ごとにその課の中でかかる人工の最も高い業務に対して分析を実施」「仕様書の業務内容(6)にある、取り組み効果の高い業務の候補として提示するもの全てに対して分析を実施」等、貴社のノウハウにより実施可能な範囲をご提案ください。
4	P 3 4 (5) 業務量及び内容・性質の分析⑤	本庁・支所の業務について、貴市の基本的な方針や考え方はございますか？	今後の方向性等について定めたものはございませんが、デジタル化やオンライン申請の普及等の社会情勢の変化や、将来的な環境等の変化への対応を見据え、本庁・支所業務のあり方を検討する必要があると考えております。今回の調査ではその検討の一助となるよう、業務の集約・分散化の可否や効果等を踏まえて分析いただきたいと考えております。
5	P 3 4 (5) 業務量及び内容・性質の分析	「業務自体を廃止」とありますが、ここでの「業務」とは業務の中の作業と読み替えても問題ないでしょうか。	省略できる作業についての提示も改善案の1つですが、業務そのものの廃止を検討する余地があるかという観点でも分析をお願いします。業務内容(6)の視点として「廃止・縮小することが望ましい業務」とあるように、例えば法令の定めがないものや処理件数が極端に少ないもの、他の業務と重複しているもの等の複数の条件から分析し提示いただくなどを想定しています。実際に廃止ができなかったとしても、担当所属が前例や慣習にとらわれず考えるきっかけになることを期待しています。

番号	質問項目	質問内容	回答
6	P2 4 (2) 調査票作成について	対象の所管課の事務・手続の一覧は調査済みでしょうか。もしくは本取組の際に調査票に項目を追加して調査いたしますか。	事務分掌規則としての各所属の事務の概目はありますが、手続きの一覧はありません。今回の調査にて一覧化することも目的の1つです。
7	P2 4 (3) 業務量調査について	業務処理フローの作成について、所管課の職員に作業負担をかけてしまうことを懸念しております。102の部課全体に先に業務量調査を行い、傾向値を把握してから、比較的業務負担の大きい部署に絞って業務フローを作成いただくような対応も考えられますが、一度に実施する方針にした背景などお考えをお聞かせください。	今回の調査により全庁的な業務の把握・精査をするとともに、業務フローとして可視化することで、他業務や他課との比較を行い、各所属において見直しのきっかけにつなげることを期待しています。一方で、全ての業務に対して処理フローを作成することによる負担も懸念されることから、調査票の工夫やパターン化した業務フローのひな形提示、ご質問で例示された対応などによる負担軽減を期待しているところです。 分析に支障の出ない範囲で負担軽減策についてもご提案ください。
8	P3 4 (5) 業務量及び内容・性質の分析②について	オンライン申請について、ぴったりサービスや松戸市オンライン申請システムを利用されていますが、各所管課での活用状況やオンライン申請の拡充の方針、活用における阻害要因など、現状の問題点・課題があればご教示ください。	令和4年度より稼働している松戸市オンライン申請システムその他、簡単な申請についてはちば電子申請システム、マイナンバーカードを使用する申請については国の方針に基づきぴったりサービスを活用し、使い分けをしている状況です。 今後の拡充については、ちば電子申請システムの利用を終了し、松戸市オンライン申請システムにて進めていく予定ですが、令和5年3月20日時点の実施手続きは293手続きとなっております。制度や運用上の課題等により、手続きのオンライン化が一定の状況から進みにくくなってはおりますが、市のすべての手続きのオンライン化に向けて、まずは、完全にオンライン申請に移行するのではなく、窓口と併用しながら手続き数を拡大してまいります。なお、手数料が発生する手続きについては、松戸市オンライン申請システムにてキャッシュレス決済を開始し、令和5年度中に対応予定です。
9	P3 4 (6) 調査分析結果を踏まえた業務の類型化・分類と改善策の提案について	時間外労働時間を分析するために、庁内の就労時間のデータは、支給可能でしょうか。	時間外労働のデータ提供は可能です。
10	P5 (表1)について	プロジェクト開始後、各部局の工数を正確に把握するために、会計年度職員等の正規職員以外の情報を支給可能でしょうか。	会計年度任用職員数等の情報提供は可能です。